

御聖訓ミニ紹介 大聖人さまの教え

仏教を信ずればまず

<現代語訳>

生まれて飲む乳の量は百八十余石。

三年間は父母のひざで遊び育(はぐく)まれ、大人になって仏教を信ずるようになったのですから、まずこの父と母との恩に報いるべきです。

<御聖訓>

生落されて乳をのむ事一百八十余石、三年が間は父母の膝に遊び人となりて仏教を信ずれば 先ずこの父と母との恩を報ずべし…上野殿御消息

2007年10月9日 (火)

南無妙法蓮華経と唱えるものは…朝朝 仏と共に起き

<現代語訳>

いま南無妙法蓮華経と唱える者は、法華経法師品(ほっしほん)にあるように「如来と共に宿する」ものに相当する。

弥勒菩薩(みろくぼさつ)の後身であるといわれる ぶ大師 の言葉にあるように「毎朝仏と共に起き、また毎晩仏と共に安らかに寝ていく。また、おりおりに題目を唱え、本地を顕(あらわ)す」のである。

<御聖訓>

今日蓮等の類い南無妙法蓮華経と唱え奉る者は与如来共宿の者なり、ぶ大師の釈に伝く「朝朝・仏と共に起き夕夕仏と共に臥し時時に成道し時時に顕本す」と伝伝…御義口伝

2007年9月26日 (水)

彼(か)の万祈を修せんよりは この一凶を禁ぜんには

<現代語訳>

悲しいかな、この数十年の間、法然の『選択集(せんちゃくしゅう)』という魔縁により正邪の念を失い、多くの人々が仏教に迷っている。

謗(ぼう/法然の邪義)を好んで、正(しょう/法華経)の教えに背いていることにおいて、正法を守護する善神が怒りを成ぜぬことがあるのか、必ず成ずるのである。

正直の純円法華経を捨てて、法然の主張のごとき極端な「偏」を好むならば、その悪に乗じて悪鬼が便りを得ないことがあるのか、必ず便り得て災いが起こってくる。

ありとあらゆる御祈念を修してもなんら効果がないという姿が『立正安国

論』の初めに示されている・・・あのような万の祈りを修するよりも、「この一凶」を禁じ、悪いことを止めなければ、本当の意味で不幸を退治する解決はない、成仏はできないのである。

<御聖訓>

悲しいかな 数十年の間、百千万の人 魔縁(まえん)に蕩(とろ)かされて多く 仏教に迷へり。

謗(ぼう)を好んで正を忘る、善神 怒りを成さざらんや。

円を捨てて偏を好む、悪鬼 便りを得ざらんや。

如(し)かず彼(か)の万祈を修せんよりは この一凶を禁ぜんには、・・・立正安国論

2007年7月30日 (月)

一切法華経にその身をまかせて

<現代語訳>

法華経の行者は信心に退転なく、偽り親しむことなく (これは、信者同士が、相手の振る舞いなどから憎むようなことをしないということ)、すべてご本尊にその身を任せて、仏の金言のとおり修行するならば、必ずや後生はもちろんのこと、今生においても災いを止め、寿命を延ばして、すぐれた大果報を得、広宣流布の大願も成就することができるのである。

<御聖訓>

法華経の行者は信心に退転無く、身に偽親無く、一切法華経にその身を任せて 金言のごとく修行せば、たしかに後生は申すに及ばず、今生も息災延命にして 勝妙の大果報を得、広宣流布大願をも成就すべきなり・・・祈祷経送状

2006年11月9日 (木)

妙とは何という心ぞや

<現代語訳>

いったい、妙というのはいかなる意味であろうか。

ただただ自己の一念の心が不思議であることをいうのである。

不思議というのは、心でもはかれないし、また言葉でも述べる事ができないという意味である。

<御聖訓>

そもそも妙とは何という心ぞや。

ただ我が一念の心不思議なる処を妙とはいうなり。

不思議とは心も及ばず、言(ことば)も及ばずという事なり・・・一生成仏抄

2006年2月24日 (金)

[次の 5件](#)